

Akagane Art Crossing 'home'

造形作家

現代美術家

日野 譲 × 伴野 久美子

2022年9月10日(土) - 10月10日(月・祝)

開館時間 | 9:30-17:00 休館日 | 9月12日(月)、20日(火)、26日(月)、10月4日(火)

別子銅山で栄えたあかがねの街「新居浜」ゆかりの現代美術作家による企画展
'home'(ホーム)をキーワードに、それぞれの表現がゆるやかにクロスオーバーする――

観覧無料 展示室1 あかがね
ミュージアム2階

新居浜市美術館
Niihama City Museum of Art



日野 譲 〈地底百花〉 2003年 ミクストメディア



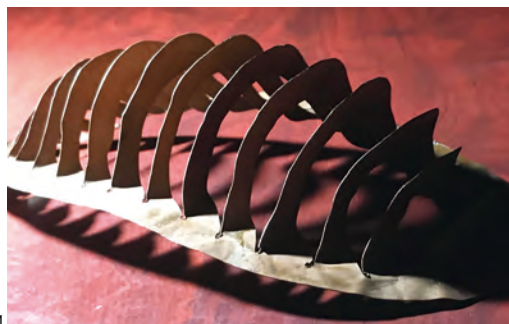
伴野 久美子 左 〈光彩〉 真鍮 右 〈home 緋色〉 カンヴァス・アクリル・岩絵具 2022年

別子銅山で栄えたあかがね(銅)の街「新居浜」にゆかりを持つ現代美術作家による企画展を開催します。

ジャンル・世代を問わず、国内外の現代美術の世界で活躍する新居浜または素材としての金属に縁を持つアーティストによる創作から、多様な表現とアートの可能性を紹介する「あかがねアート・クロッシング」。今回は1960年代から愛媛の前衛美術シーンの中で活動をしてきた造形作家・日野譲と、関西を中心に現代美術の世界と舞台プロデュースの分野で活躍を続ける美術家・伴野久美子の2名によるふたつの個展を開催します。

'home'(ホーム *原義は住むところ)という共通のキーワードをもとに、ゆるやかに関わらう展示空間の中で、両者の表現がどのようにクロスオーバー*していくのかご注目ください。

*クロスオーバー:異なる要素がお互いの境界線を越えて交差すること。



1.日野譲《宝の山》2012年頃 銅 12.日野譲《お手玉》2012年頃 銅 13.伴野久美子《光彩》2022年 亜鉛・アクリル 14.伴野久美子《機縁》京都芸術センター主催「We Age」インスタレーション 2020年 京絞リ・ペインティング・映像・いきもの 撮影:前谷開

日野 譲

HINO, Yuzuru

1936年愛媛県西条市生まれ。西条高等学校卒業後、神戸で電気技師として働いた後、神戸新聞文化センターに通い、小松益喜、津和らから美術を学ぶ。63年以降、新居浜に拠点を移し、西原元らが設立した新居浜美術研究会に加入。68年「新居浜在野グループ」に参加。松山在住の具体美術協会会員・坪内晃幸の知遇を得て「'69具体美術新人展」に出品・入選。「愛媛野外美術展」('69,'70)「愛媛現代美術の現況展」('70)、「愛媛の101人展」('75)等に出品。75年「アーティスト・ユニオン愛媛」の発足にも加わり、愛媛の前衛美術シーンの中心で活動を続ける。銅をはじめ、木材、布、ビニールCGなど、多様な素材とメディアから、自然や宇宙とのかかわりをテーマとした造形作品を制作している。新居浜市在住。

'home' 人生、次元、感動

人生の大切なもの、それは感動！数々の感覚を通して受け取った幸せは、その人の貴重な財産として蓄積されます。今回は、視覚を中心とした催しですが、遠くからの物でなく、ごくありふれた中にある真実に気づいて頂き、これからの人生に生かされることを望んでおります。

伴野 久美子

BANNO, Kumiko

1955年愛媛県新居浜市生まれ。新居浜西高等学校、甲南大学経営学部卒業。77年ローズガーデン美術公募展に入選し、78年審査員であった具体美術協会会員・現代美術家の元永定正に師事。吉原治良賞美術コンクール展、現代日本美術展、日本国際美術展、朝日現代クラフト展等入選。80年以降毎年個展を開催。87年ホルベイン・スカラシップ奨学者。「'90'93 兵庫の美術家展」「'02 倉敷屏風祭」等招聘。92年から金属作品、93年から舞台プロデュース、08年から京絞リ・寺田と共同作品を手がける。法泉寺(新居浜市垣生)に両界種字曼陀羅とハイテクマンダラを奉納。大阪芸術大学元非常勤講師、慶應義塾大学日吉キャンパス公開講座講師等。滴翠美術館、大手前学園、甲南学園、市立伊丹ミュージアムほか収蔵。神戸市在住。 <http://www.bankumi.com>

'home' ひと、とき、ところ

展覧会のタイトルは紛争終息への祈りを込めて'home'としました。人が住んでいる場所、あるいは人のルーツがある場所に関係すること、またはその場所にいるさま、という意味もありました。選りすぐりの舞台プログラム「初源」シリーズの3つ(能、虚無僧尺八、ピアノ&和琴)を新居浜バージョンでお届けします。作曲家の藤枝守さん、写真家の前谷開さん、新居浜ゆかりの方々が見守りました。おたのしみいただきますれば幸いです。

関連事業

① アーティストトーク

9月10日(土) 13:30-14:30 [参加自由](#)

[場所] 展示室1 [定員] 30名

本展出品作家の日野譲氏と伴野久美子氏に、会場で作品について語っていただきます。

② トークセッション

「阪神間 ↔ 愛媛 — 前衛美術家たちの挑戦」

9月23日(金・祝) 14:00-16:30 (途中休憩あり) [参加自由](#)

[場所] 市民ギャラリー [定員] 30名

1950年代以降に「阪神間」と「愛媛」で展開された前衛美術の動向について、「地方」という視点からお話をいただきます。

■ トーク1

「阪神間」の前衛 — 「関西の戦後美術 1950年代~1980年代」

[講師] 坂上義太郎氏 (BBプラザ美術館顧問・元伊丹市立美術館長)

■ トーク2

「愛媛」の前衛 — 「えひめもう一つの流れ 1965~1985 美術からアートへ」

[講師] 矢野徹志氏 (美術家・愛媛県立美術館初代学芸員)

■ パネルトーク

「阪神間 ↔ 愛媛」地方の前衛について思うこと —

[パネラー] 坂上義太郎氏、矢野徹志氏、日野譲氏、伴野久美子氏
[進行] 井須圭太郎 (当館学芸員)

※①②の様子は後日会場とYouTubeにて上映・配信予定

同時開催

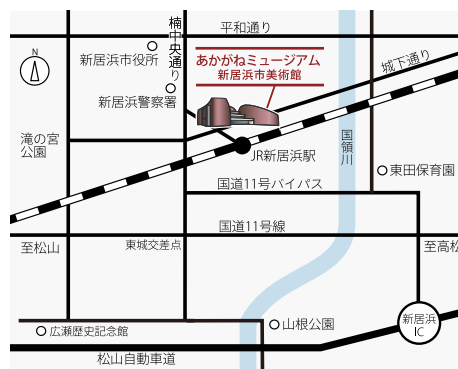
「新居浜の美術 コレクション展示 (第I期)」 [観覧無料](#)

[会期] 9月10日(土)~10月10日(月・祝) [会場] 展示室2

当館が所蔵する美術品やアーカイブ資料について、新居浜および地域ゆかりの美術を中心に展示・紹介します。

関連事業 学芸員によるギャラリートーク

10月8日(土) 14:00-(30分程度) [聴講無料・参加自由](#)



[交通案内] JR予讃線「新居浜」駅から徒歩すぐ/せとうちバス「新居浜駅」下車徒歩すぐ/松山自動車道新居浜ICからJR新居浜駅方面へ車で15分 ※JR新居浜駅を目標にお越しください。
[駐車場] 施設併設の有料駐車場がございます。施設をご利用の方は総合案内にて3時間無料サービス券をお配りしています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、本展の会期や内容に変更が生じる場合があります。最新情報は当館ホームページにてご確認ください。



新居浜市美術館
Niihama City Museum of Art

〒792-0812 愛媛県新居浜市坂井町2-8-1
TEL. 0897-65-3580
<https://www.city.niihama.lg.jp/soshiki/bijutu/>